

# 第42回全国育樹祭 実施計画

(平成30年2月)

【概要版】

第42回



# 全国育樹祭

TOKYO 2018

育樹から 木のある暮らし つないでく

## 東京都産業労働局

## 第42回全国育樹祭の開催概要

- <開催日> 平成30年11月17日(土)・18日(日)
- <主催> 東京都、公益社団法人 国土緑化推進機構
- <主な行事> お手入れ行事(海の森公園予定地(中央防波堤内側埋立地))  
式典行事(武蔵野の森総合スポーツプラザ(調布市))
- <大会テーマ等>

(シンボルマーク)



もり ひでお  
作者：盛 秀雄さん

(ポスター原画)



かまなか ことみ  
作者：鎌仲 思実さん  
練馬区立開進第三中学校2年  
[応募時]

第42回全国育樹祭  
大会テーマ : 育樹から 木のある暮らし つないでく

### 木材の大消費地 東京ならではのメッセージを全国に発信

■ 木材供給・水源かん養・CO<sub>2</sub>吸収による温暖化の緩和など、森林は、世界有数の大都市東京の活動と暮らしを支えるかけがえない財産

■ 東京2020大会関連施設等での木材利用推進など、東京で日本全国の豊富な森林資源を有効活用することにより、森林循環を促進

■ 江戸から東京となって150年の節目での育樹祭開催となることを踏まえ、日本が誇る木材利用文化を将来にわたり継承

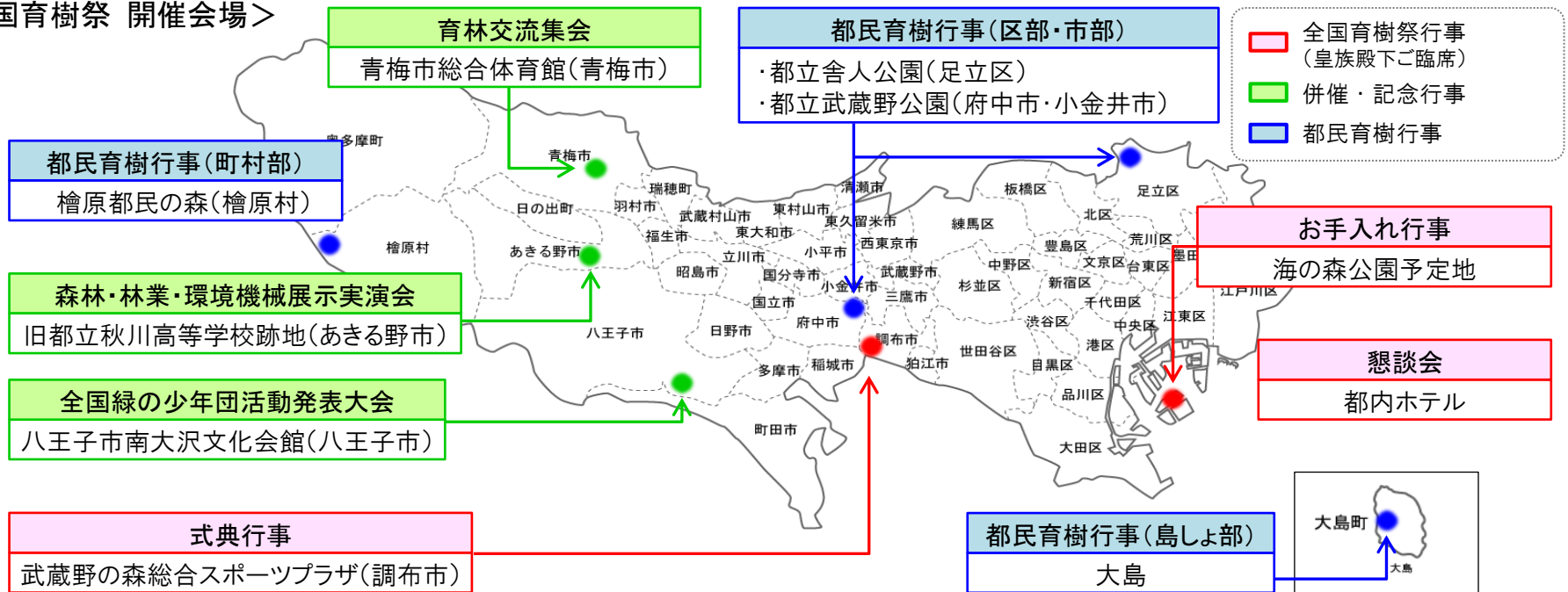
森づくりへの機運の醸成、森林整備・木材利用の促進

- ◎ 森を育て、木を使うことによる持続可能な暮らしを未来へつなぐ
- ◎ 健全で活力ある森林と緑豊かな大都市東京を次世代に継承

<全国育樹祭行事、都民育樹行事日程>

【平成30年】 4月～8月	11月		
	17日(土曜日)	18日(日曜日)	19日(月曜日)
都民育樹行事	お手入れ行事	懇談会	式典行事
	育林交流集会		
	全国緑の少年団 活動発表大会	森林・林業・環境機械展示実演会	

<全国育樹祭 開催会場>



# 「お手入れ行事」計画

## 行事の概要

- <開催日時> 平成30年11月17日（土曜日）  
午後（予定）
- <会場> 海の森公園予定地（中央防波堤内側埋立地）
- <参加人数> 200人程度

### 主な参加者

皇族殿下、  
参議院議長（大会会長）、農林水産大臣、林野庁長官、  
国土緑化推進機構理事長、  
都知事、都議会議長、東京都関係者、区市町村関係者、  
林業・木材関係団体代表者等



会場イメージ



お手入れ行事（枝打ち）／群馬県の例



ぎよせい  
御製の碑とお手植え樹木（イチヨウ）

### 御製

埋め立てし 島に來たりて 我が妹と  
いてふの雄木と雌木植ゑにけり

## 1 都知事等による記念育樹活動

記念育樹活動（会場内の樹木に施肥）及び 記念撮影

## 2 お手入れ行事 <皇族殿下 御臨席>

皇族殿下 御着  
先導 都知事等

- ・第47回全国植樹祭（平成8年）のパネル写真、御製の碑、  
お手植え樹木を御覧  
説明：都知事
- ・お手入れ（枝打ち・施肥）  
介添え 東京都森林組合職員  
ボーイスカウト  
ガールスカウト
- ・介添え者に対するお声掛け

皇族殿下 御発  
先導 都知事等

## 3 参加者による育樹活動

育樹活動（会場内の樹木に施肥）

# 「懇談会」計画

## 懇談会

- 皇族殿下の御臨席を仰ぎ、全国育樹祭での各種表彰者に祝意を表する場として開催されるレセプション

<開催日時> 平成30年11月17日（土曜日）  
夕刻（予定）

<会場> 都内ホテル

<参加者> 300人程度

### 主な参加者

皇族殿下、  
参議院議長（大会会長）、農林水産大臣、林野庁長官、  
国土緑化推進機構理事長、  
都知事、都議会議長、東京都関係者、区市町村関係者、  
緑化功労者、林業・木材関係団体代表者等



懇談会／岐阜県の例

## 懇談会次第

開宴の言葉（都議会議長）

主催者あいさつ（参議院議長（大会会長））

乾杯（都知事）

皇族殿下による緑化功労者等へのお声掛け、  
歓談

閉宴



# 「式典行事」計画（概要・プログラム）

## 行事の概要

＜開催日時＞ 平成30年11月18日（日曜日）  
10:00～12:30（予定）

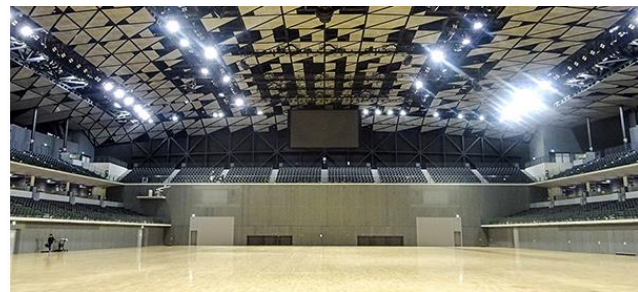
＜会場＞ 武蔵野の森総合スポーツプラザ（調布市）

＜参加人数＞ 5,000人程度

内訳

（中央参加者）	200人程度
（都内林業・木材産業関係者）	1,600人程度
（都外林業・木材産業関係者）	700人程度
（一般公募参加者）	1,000人程度
（出演者・実施本部員等）	1,500人程度

## ＜武蔵野の森総合スポーツプラザ＞



メインアリーナ（約4,900㎡）

1 プロローグ		
オープニングアトラクション	～ようこそ！豊かな自然に恵まれた首都・東京へ～	
武蔵国府太鼓	武蔵国府太鼓連盟	
東京ゆかりの童謡メドレー	式典会場近隣自治体の学校で編成した合唱隊による「春の小川」「花」「赤とんぼ」「夕焼け小焼け」4曲の合唱	
映像上映	全国育樹祭への取組及びお手入れ行事紹介映像	
2 式典＜皇族殿下ご臨席＞		
皇族殿下御着	都知事による先導	
開会のことば	国土緑化推進機構 副理事長	
三旗入場	都内緑の少年団	
国歌独唱・三旗掲揚	森麻季（オペラ歌手）	
主催者あいさつ	参議院議長（大会会長）、都知事	
歓迎のことば	都議会議長	
皇族殿下のおことば		
表彰	緑化功労者等に感謝状を贈呈	
緑の贈呈	全国の緑の少年団に東京の各地域を象徴する苗木を贈呈（イチョウ、コナラ、ヤマザクラ、ヤブツバキ）	
緑の少年団活動発表	都内緑の少年団	
メインテーマアトラクション	～東京150年！森を育て木を使うことによる持続可能な暮らしを未来へ～	
大会宣言	国土緑化推進機構 理事長	
次期開催県あいさつ	沖縄県	
閉会のことば	調布市長	
皇族殿下御退席	合唱隊による「旅立ちの日に」の合唱	
3 エピローグ		
エンディングアトラクション	～育てよう！森林・林業を支える未来の担い手たち～	
ビデオメッセージ	東京で林業や木材産業に携わる若者・女性からのビデオメッセージ	
フィナーレ	出演者・来場者全員による「花は咲く」の合唱	

# 「式典行事」計画（メインテーマアトラクション）

## アトラクションのコンセプト等

東京150年！森を育て木を使うことによる持続可能な暮らしを未来へ

○ 各フェーズは父・娘（小学校高学年程度）の親子のナビゲーターのやりとりによって進行

## フェーズ1：木材利用によって育まれた江戸のまちづくりと文化

<①江戸城の改築等で全国各地から江戸に木材が集積貯木場「木場」の発展>



木遣り唄／木場木遣保存会

<②江戸木版画や江戸指物など、木を使った伝統工芸品の紹介>



<③建築労働者の鳶を中心に選ばれた「町火消」の活躍、江戸の火消文化の紹介>

「梯子乗り」パフォーマンス／(一社)江戸消防記念会



## フェーズ2：大都市東京の活動と暮らしを支える森林と木材

<①森林の機能の説明>

<②東京の地域材である多摩産材の紹介>

竹製の楽器による演奏

／能楽師笛方、和洋笛演奏者 いっそう 一噌幸弘



<③多摩や島しょ地域に広がる森林・自然と親しむ都民>

森林や登山に親しむ姿を表現する創作ダンス  
／日本女子体育大学附属二階堂高等学校ダンス部等



## フェーズ3：日本の誇るべき木材利用文化の継承と発信

<①木材利用を進め、森林循環を促進>

<②新たな木造建築技術であるCLTなど、未来に向けた木材利用の可能性>

<③東京2020大会関連施設等での木材利用の推進と日本が誇る木材利用文化の発信>

「Stand Alone」独唱／森麻季(オペラ歌手)



## <式典行事・アトラクション等の出演者一覧>

項目	役割	出演候補者（予定）
総合司会者	○式典全体の司会進行	（調整中）
ナビゲーター	○メインテーマアトラクションの進行 ○親子（父娘）の設定	
式典アテンダント	○式典登壇者の誘導等	○式典会場近隣自治体の高校生
式典「吹奏楽隊」	○式典における音楽演奏	○東京消防庁音楽隊 ○都内高校生
式典「合唱隊」	○オープニングアトラクションの童謡メドレー等の歌唱	○式典会場近隣自治体の学校
武蔵国府太鼓	○オープニングアトラクション	○武蔵国府太鼓連盟
木遣り唄	○メインテーマアトラクション	○木場木遣保存会
梯子乗り		○（一社）江戸消防記念会
竹製楽器の演奏		○一噌幸弘（能楽師笛方、和洋笛演奏者）
創作ダンス		○日本女子体育大学附属二階堂高等学校ダンス部等
「君が代」独唱 「Stand Alone」独唱 「花は咲く」合唱	○式典での国歌独唱 ○メインテーマアトラクション ○エンディングアトラクション	○森麻季（オペラ歌手）
ビデオメッセージ	○エンディングアトラクション	○東京で林業や木材産業に携わる若者・女性

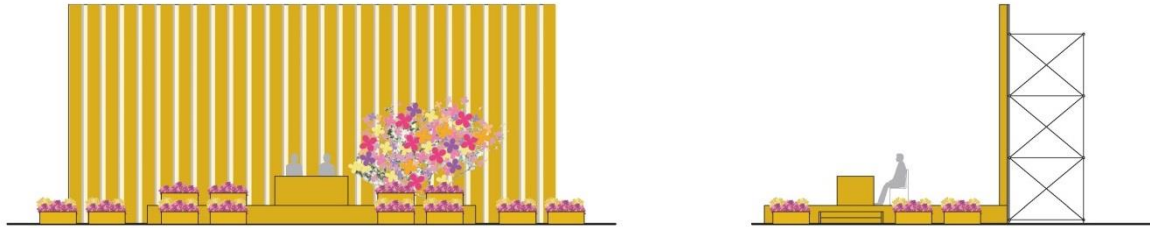


# 「式典行事」計画（会場計画）

## 会場設営

○御席やエントランス等に多摩産材等の木材を積極的に活用し、森林・林業の祭典にふさわしい会場を設営

### <御席イメージ>



御席／京都府の例

### <バックパネルイメージ>



「御席」のバックパネルは森林が成長する過程を表現

### <エントランスイメージ>



「エントランス等」には歓迎ボードを設置し、都内産の花で装飾

# 「飾花・木製工作物」計画

## 飾花

- 都内産の花で会場を彩るとともに、多摩産材で製作したカバーに飾花プランターを入れて設置し、会場内に木質感を演出



飾花／香川県の例



プランターカバー（多摩産材）

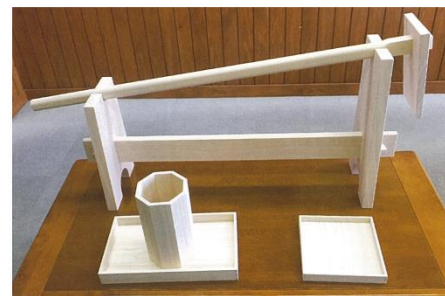
- 都内の学校等の児童・生徒により飾花の育成、プランターカバーの製作を行い、次代を担う都民の参加を推進

項目	内 訳
飾花育成（9校）	都立農業関係高等学校等
プランターカバー製作 （42校・9団体）	調布市立小学校
	府中市立小学校
	三鷹市立小学校
	都立特別支援学校
	都内緑の少年団

## 木製工作物

- 鋤<sup>くわ</sup>等のお手入れ道具
- 「お手入れ行事」会場及び「T O K Y O おもてなしコーナー」（式典会場）の参加者席
- 「式典行事」会場の三旗掲揚台等

上記の木製工作物は多摩産材等で製作



お手入れ道具／埼玉県の例



木製ベンチ／京都府の例



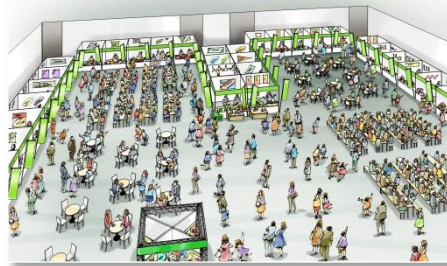
< 式典会場配置図 (イメージ) >



# 「式典行事」計画（TOKYOおもてなしコーナー・式典弁当）

## TOKYOおもてなしコーナー

- 式典会場のサブアリーナに設置
- 式典参加者に東京の魅力的なおみやげ（加工品・特産品）と都内産食材を使用した飲食物を提供
- 東京の森林・林業の取組とともに、東京観光等をPR



TOKYOおもてなしコーナーイメージ

区分		実施内容
販売コーナー		東京の特産品や加工品、木を使った工芸品等の紹介・販売
展示コーナー		東京都の森づくり活動や木の活用に向けた取組についての展示・紹介、多摩・島しょ地域の観光案内等
その他	総合案内所	式典参加者に対するきめ細やかな案内を実施
	湯茶提供ブース	式典参加者に対する湯茶の提供
	休憩所	式典参加者が自由にくつろげるよう、テーブルやベンチを設置

## 式典弁当

- 式典参加者に式典弁当を提供  
（全国からの参加者等が式典終了後に食べるお弁当）
- ① 都内産農林水産物を豊富に使用  
小松菜、明日葉など、東京が全国で有数の生産量を誇る野菜やブランド豚「TOKYO X」等を使用
- ② 江戸から東京150年の節目を飾る郷土料理・食材  
あさりごはん（深川めし）／「江戸味噌」を使用した料理 等
- ③ 木材の大消費地東京として、木材利用を進めることで森林循環を促進
  - ・多摩産材を活用した弁当箱・箸を利用
  - ・お茶は間伐材を使用した紙パックで提供

※献立イメージ

東京産小松菜 おひたし 島しょ産 明日葉漬物	東京産 野菜の煮物	東京産の果物
あさりごはん （深川めし）	日の丸ごはん	海苔ごはん
※ 岩手、宮城、福島県産米を使用（予定）		
鶏の江戸味噌 焼き	TOKYO Xを利用 した肉料理	島しょ産 海産物の さつまあげ

# 「育林交流集会」（併催行事）計画

## 行事の概要

- <開催日時> 平成30年11月17日（土曜日）  
13:00～16:30（予定）
- <会場> 青梅市総合体育館（青梅市）
- <参加人数> 500人程度  
（全国の林業関係者、  
次代を担う大学生、高校生、  
ボランティア）
- <行事内容> 森林・林業が直面する課題等を  
テーマとした基調講演、パネルディ  
スカッション等



パネルディスカッション／山形県の例

内 容	
歓迎アトラクション	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 青梅市PR映像の上映</li> <li>○ 青梅市にゆかりのある方へのインタビュー（ビデオ） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「多摩川の筏流し」について</li> <li>・「愛林日植樹行事」について</li> </ul> </li> <li>○ お山の杉の子（青梅市モチーフ）合唱</li> </ul>
主催者あいさつ	（公社）国土緑化推進機構、東京都
来賓祝辞	林野庁、（一社）全国林業改良普及協会
歓迎のことば	青梅市
基調講演	今井通子氏（登山家・医学博士）
休憩	
パネルディスカッション	<p>【テーマ】 森を育て、木を使うことによる持続可能な暮らしを未来へつなぎ、健全で活力ある森林を次世代に継承するため、私たち一人ひとりができることを考える機会とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ コーディネーター</li> <li>○ パネリスト <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 森林所有者（育林の現状、課題、森林を活用した取組）</li> <li>・ 企業（木材の新たな活用、企業と木との関わり方）</li> <li>・ ボランティア 又は ジャーナリスト（一人ひとりができること）</li> </ul> </li> </ul>
閉会のことば	東京都



# 「全国緑の少年団活動発表大会・交流集会」（併催行事）計画

## 行事の概要

### 【全国緑の少年団活動発表大会】

＜開催日時＞ 平成30年11月17日（土曜日）  
12:00～15:00（予定）

＜会 場＞ 八王子市南大沢文化会館（八王子市）

＜参加人数＞ 500人程度

＜行事内容＞ 全国の緑の少年団による活動発表、  
各種表彰等

### 【交流集会】

＜開催日時＞ 発表大会同日夕刻から翌朝まで（宿泊）

＜会 場＞ 高尾の森わくわくビレッジ（八王子市）

＜参加人数＞ 150人程度

＜行事内容＞ 全国の緑の少年団の交流を深めるレク  
リエーション等



全国緑の少年団活動発表大会  
／岐阜県の例



交流集会／京都府の例

## 全国緑の少年団活動発表大会（八王子市南大沢文化会館）

歓迎アトラクション	○ 八王子市PR映像の上映 ○ 和太鼓 鼓一
団旗入場	各団発表者がプラカードと団旗を持って入場
主催者あいさつ	（公社）国土緑化推進機構、東京都
歓迎のことば	八王子市
励ましのことば	林野庁
活動発表	5団体（東京都代表、ほか4道府県代表）
休憩	
特別講演	後藤瑞穂氏 （樹木医、（株）木風 代表取締役、NPO法人 フォーエバーツリーネットワーク代表理事）
表彰・講評	＜講 評＞（公社）国土緑化推進機構 ＜各種表彰＞（公社）国土緑化推進機構 ・みどりの奨励賞表彰 活動発表5団体 ・緑の少年団育成功労者表彰 7～10名
閉会のことば	（公社）国土緑化推進機構

## 交流集会（高尾の森わくわくビレッジ）

会場到着	活動発表大会会場からバスで移動
交流集会 （体育室）	他の団員同士がコミュニケーションをとれる木を活用 したレクリエーションなど
就寝	
翌朝 式典会場に出発	バス移動

# 「森林・林業・環境機械展示実演会」（記念行事）計画

## 行事の概要

- 東京都と一般社団法人林業機械化協会の共催による、最新の林業機械を中心とした展示・実演会
- 機械化による施業の効率化や安全に関する情報を林業関係者に提供するとともに、一般参加者の関心・理解を高め、担い手を育成

＜開催日時＞ 平成30年11月18日（日曜日）9:00～16:30（予定）  
19日（月曜日）9:00～15:00（予定）

＜会 場＞ 旧都立秋川高等学校跡地（あきる野市）

＜参加者＞ 20,000人程度

＜主催＞ 東京都、  
一般社団法人林業機械化協会

＜出展団体＞ 国内外の林業機械メーカー等

＜その他＞ 物販・飲食ブースを設置



京都府の例

＜ 11月18日（日曜日） ＞

内 容	
オープニング セレモニー	主催者あいさつ 東京都、（一社）林業機械化協会
	来賓あいさつ 林野庁
	歓迎のことば あきる野市
	テープカット
歓迎アトラクション あきる野市の郷土芸能（太鼓等）	
展示実演会 国内外の林業機械メーカー等	

＜ 11月19日（月曜日） ＞

内 容	
展示実演会 国内外の林業機械メーカー等	

# 「都民育樹行事」計画

## <都民育樹行事の概要>

- 多くの都民が森林や木の魅力に触れることのできるイベントを都内各地（区部・市部・町村部・島しょ部）で展開し、全国育樹祭の開催機運を醸成するとともに、森づくりへの参加を促進

### 武蔵野公園・舎人公園

<プログラム> フェスティバル型のイベント（育樹活動・木工体験・苗木配布・ステージパフォーマンス等）

<会場・開催日>

- 都立武蔵野公園 平成30年4月15日（日曜日）  
（府中市・小金井市）
- 都立舎人公園 平成30年5月27日（日曜日）  
（足立区）



### 大島

<プログラム> 親子参加型ツアー

（保安林の補植・木工教室等）

<開催日> 平成30年5月20日（日曜日）

<会場> さのはま 砂の浜保安林・東京都大島支庁（大島町）



### 檜原都民の森

<プログラム> 親子参加型体験イベント

（育樹活動・セラピーロード散策・木工教室等）

<開催日> 平成30年8月25日（土曜日）

<会場> 檜原都民の森（檜原村）



# 運営計画

## 式典行事の宿泊・輸送計画等

区分	人数	内訳	宿泊	輸送
中央参加者	200人程度	国（農林水産省、林野庁等）関係者、 全国の林業・木材団体の長 等	—	公用車、自家用車、 公共交通機関等
都内林業・ 木材産業関係者	1,600人程度	緑化功労者、林業・木材産業関係者、東京都関係者、 区市町村関係者 等		
都外林業・ 木材産業関係者	700人程度	各道府県の林業・木材関係者 等	宿泊あり （新宿、池袋、 品川、立川等の ホテルを手配）	貸切バス
一般公募参加者	1,000人程度	一般公募による参加者	—	公共交通機関
出演者、 実施本部員	1,500人程度	出演者及びその随行者、実施本部員等		貸切バス、 公共交通機関等
合計	5,000人程度			

### 実施本部計画

- 平成30年7月頃に都知事を本部長とする「第42回全国育樹祭 東京都実施本部」を設置
- 行啓担当、報道担当、接遇担当、会場受付・案内担当、宿泊・輸送担当など臨時的なオペレーション組織を編成

### 警備・防災等計画

- 警察・消防等、関係機関と緊密に連携
- お手入れ会場や式典会場の入場ゲートでは、本人確認書類との照合を行うとともに、金属探知機による持ち物検査を実施
- 緊急事態等の発生に備え、対応マニュアルや避難計画等を準備し、実施本部員に周知徹底

### 協賛計画

- 全国育樹祭の開催に賛同する企業・団体等を対象に、協賛を募集
  - ・ 資金協賛
  - ・ 物品協賛
  - ・ その他（役務の提供、広告掲出などによる協力）

## 開催準備スケジュール（予定）

4月	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 都民育樹行事（都立武蔵野公園）</li><li>○ 式典行事の「一般参加者」公募開始</li></ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 都民育樹行事（大島）</li><li>○ 都民育樹行事（都立舎人公園）</li></ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 「第69回全国植樹祭」（福島県）開催</li></ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 「第42回全国育樹祭 東京都実施本部」設置</li></ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 都民育樹行事（檜原都民の森）</li></ul>
9～10月	<ul style="list-style-type: none"><li>○ パート別リハーサル（各出演者・実施本部員等）</li></ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"><li>○ 総合リハーサル</li><li>◎ 「第42回全国育樹祭」開催（11月17日・18日）</li></ul>